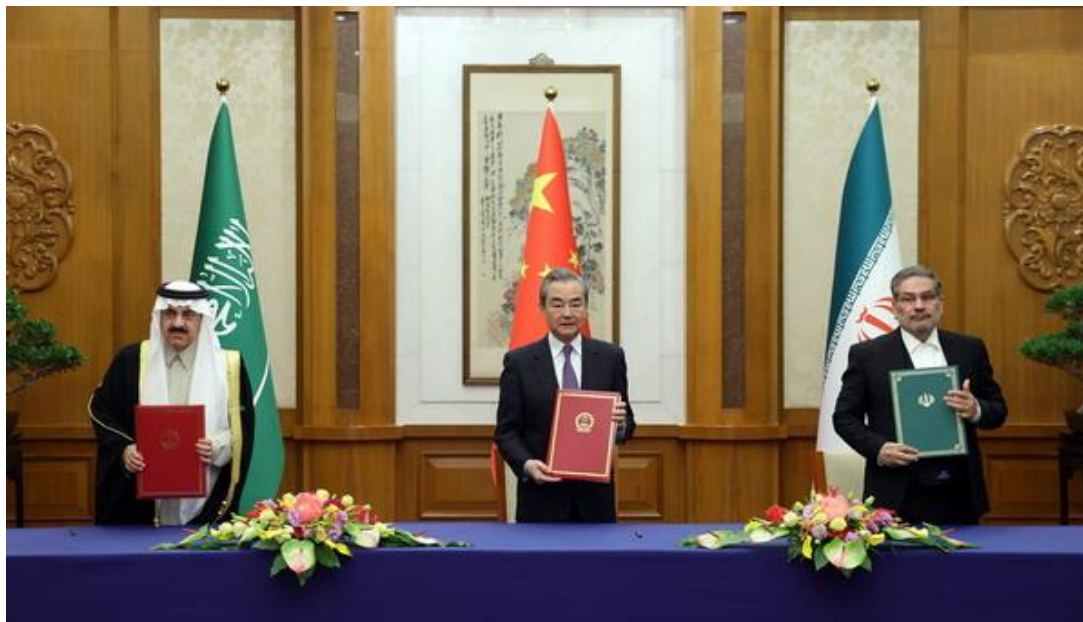


## 第46回 中東協力現地会議

### 「中東におけるパワーバランスの変化と日本」



(出所) 中国外交部HP

# 中国の外交戦略と 中東の位置づけ

防衛研究所 八塚正晃

●2022年12月に初開催された中国・アラブ連盟サミット



(出所) 中国外交部HP

# 中国・中東関係の概観

# 中国の中東関与の特徴

## ➤ 経済発展を優先

- 政治問題は経済発展により解決可能との認識  
習近平“中東の問題の原因は発展にあり、その出口もまた発展にある”
- 経済協力 1 + 2 + 3
  - ①主軸：エネルギー（石油）協力
  - ②両翼：インフラ建設、貿易投資の円滑化
  - ③新領域突破口：原子力エネルギー、宇宙衛星、新エネルギー

## ➤ 「緩い相互支持」関係

- 平和共存 5 原則の維持
  - ①領土・主権の尊重、②相互不可侵、③内政不干涉、④平等互惠、⑤平和共存
- 中国の「核心的利益」への尊重（支持）要求
- 「同盟」ではなく柔軟な「パートナーシップ」

# 中国・中東間対話プラットフォーム

## 中国・アラブ連盟協力フォーラム

・2004年から閣僚級・高官級・企業家民間交流を毎年開催

## 中国・GCC戦略対話

・2010年から閣僚級の戦略対話を開始。2022年12月にサミットを開催。

## 中国・アラブ諸国博覧会（中ア経貿論壇）

・2010年から中国寧夏回族自治区で2年に一回程の頻度で開催

## 中国・アラブ連盟サミット

・2022年12月にサウジアラビアで初めて開催



## 中国外交部における中東担当（局長、特使）



鄭勵・西アジア  
北アフリカ等担  
当外交部長補佐



王鎬・西アジ  
ア北アフリカ  
局局長



翟隽・中東  
問題特使



岳曉勇・アフガ  
ン事務特使



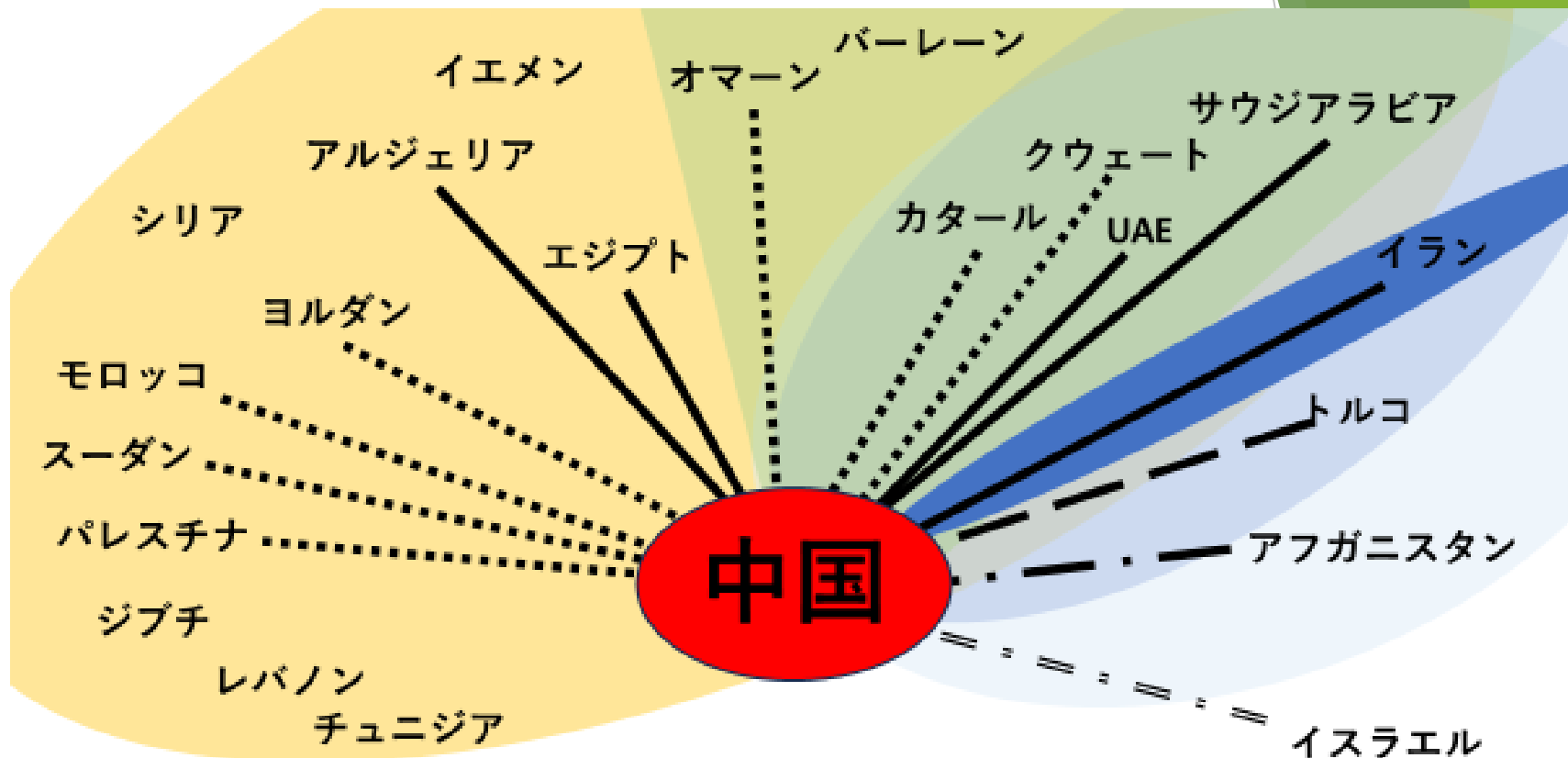
解曉岩  
シリア問題特使



薛冰・アフリカの  
角事務特使



# 中国を中心に広がる関係のネットワーク



二国間パートナーシップ関係		多国間対話枠組み	
——	包括的戦略パートナー	● (Yellow)	中国アラブ連盟協力フォーラム
==	イノベーション包括的パートナー	▲ (Green)	中国GCC戦略対話
— —	戦略協力関係	● (Dark Blue)	上海協力機構正式加盟国
- - -	戦略協力パートナー	● (Light Blue)	上海協力機構対話パートナー
.....	戦略パートナー	● (Very Light Blue)	上海協力機構オブザーバー

# 中国の外交戦略と中東の位置づけ



(出所) 人民網

# 三つのイニシアティブ 米中戦略的競争時代の中国式ナラティブ

## GSI : グローバル安全保障イニシアティブ(2022.4-)

- 国連中心主義の強調（冷戦思考、単独主義、覇権主義への反対）
- 幅広い安全保障観（伝統／非伝統、ロングアーム管轄への反対）
- 大国間協調、火種となる問題の政治解決、中国中心の多国間枠組みの活用

## GDI : グローバル発展イニシアティブ(2021.9-)

- ①平等なパートナーシップを基にした発展の優先、②発展過程での民生改善、③発展途上国の内政に配慮した援助、④イノベーション駆動の堅持、⑤脱炭素、⑥グローバル発展運命共同体の建設

## GCI : グローバル文明イニシアティブ(2023.3-)

- 世界文明の多様性、文明間の平等な対話の追求
- 西側の価値観の流入、イデオロギー対立への反対

- 力・利益・価値の3体系に関する中国の考え方を開陳
- 非西側国家糾合のための柔軟な解釈
- 米国主導の安全保障、経済制裁、価値観へのカウンターナラティブ

# 中国が中東で「大国外交」を 実践する動機

## ▶ エネルギー安全保障

中国の石油の対外依存度は約70%  
輸入石油の内、約半分を中東地域から輸入  
中国のエネルギー消費構成の約20%が石油

国内エネルギー消費における中東の  
石油依存度は約7%  
(日本は約17%)

## ▶ 「海外利益」の保護

中東情勢の不安定化による中国企業、華僑へのリスク増加

中東全体の華僑・華人は50万人以上とも

## ▶ 宗教過激派の台頭と国内統治（ウイグル問題）

中東諸国に対するテロ協力、治安協力、情報技術協力

## ▶ グローバルに展開する米国との戦略的競争の先鋭化

「緩い相互支持」（内政不干渉・核心利益・発展の支持）の強化

「核心利益」をめぐるナラティブの支配

華僑緊急護送オペレーション  
で帰国する人々（出所）新華社



中国UAE対テロ・過激派協力枠組み  
(2022年9月18日)





# 中東における大国外交

## ▶ 流動化する中東地域秩序

①米国の関与の意志と能力の低下、②中国・ロシア・インドなどの新興国の影響力向上、③地域内諸国の戦略的自律性が向上

## ▶ 王毅（2021年末外交総括演説）

「我々は国際秩序の火種となる問題に対して積極的な役割を發揮し、積極的に調整を行った」「中東の安定維持と平和促進にポジティブに貢献した」

## ▶ 劉中民・上海外国語大学中東研究所所長

中国は中東問題において「中国の知恵」で貢献し、「中国の提案」や「中国のプラットフォーム」を提供することで中東において和平協議を推進し、地域の和解と和平の作用を増進させるべき。

「内政不干渉原則を引き続き尊重しつつも、内政不干渉と建設的介入の関係を上手く処理」し「創造的に運用する」



# 中東安全安定のための5つのイニシアティブの提起（2021.3）中国の提案

## 1. 相互尊重の提唱

シリア、イエメン、リビアなど火種となる問題については、地域の国や人々を中心に政治的解決を進めるべき・・・中国は、この目的のために建設的な役割を果たし続けることを望んでいる。

## 2. 公平正義の堅持

パレスチナ問題解決と二国家解決案の実行

## 3. 核不拡散の実現（イラン核包括合意の履行再開）

## 4. 集団安全保障の共同構築

湾岸地域の安全保障に関する多国間会議の中国での開催を開始

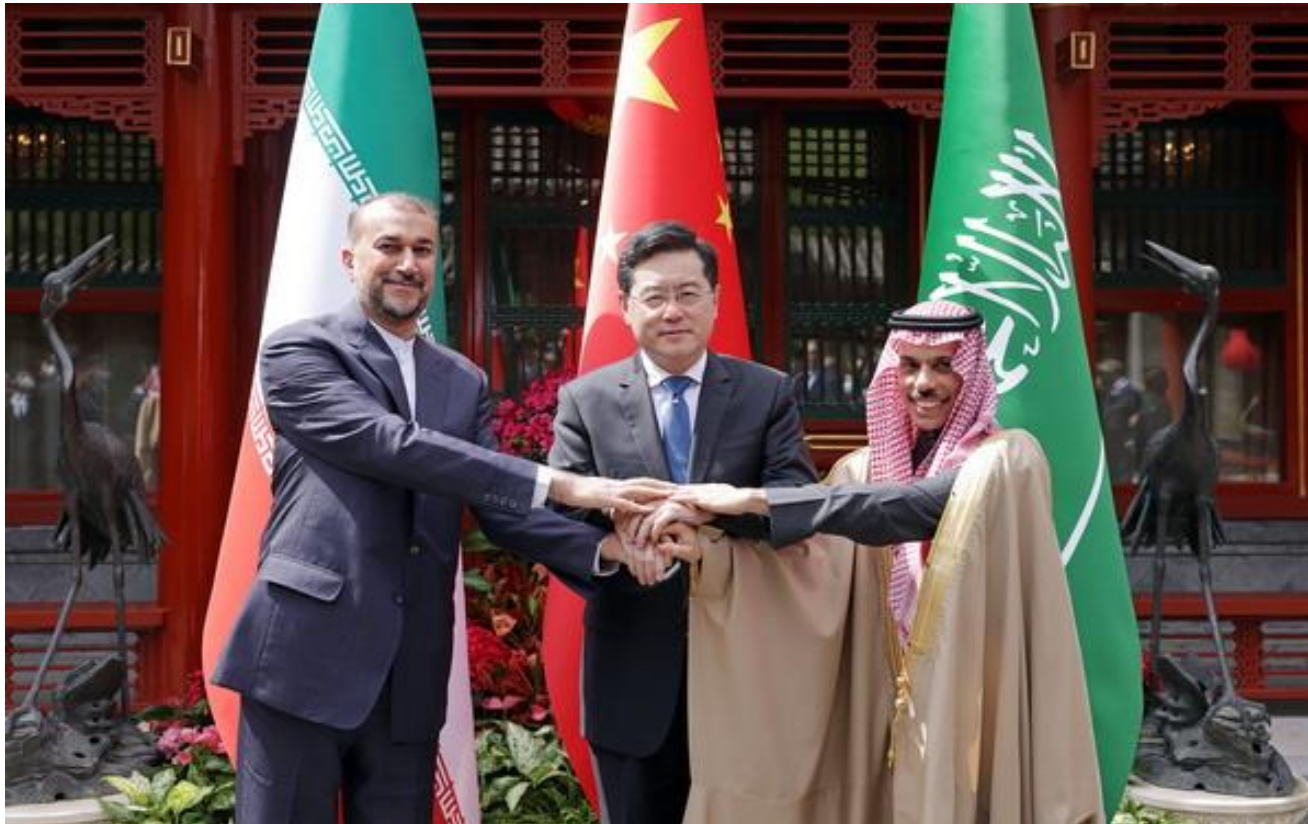
中東安全保障フォーラム（2020年～）、ハイレベル軍事研究機関研究会（2022年～）

## 5. 発展協力

中国・アラブ改革発展フォーラムなどを継続的に開催

# サウジアラビア・イラン国交回復における中国の仲介工作

- 2023年4月に実施された国交回復フォローアップ外相会談



(出所) 中国外交部HP

# 国交回復と仲介工作の概要

- ▶ 2016年1月から断交関係にあったサウジアラビアとイランが2023年3月6日～10日に北京で協議し、中国の仲介で国交回復に合意と発表
  - ▶ 両国は2021-2022年にもイラクやオマーンの仲介で国交回復について協議を進めるも目立った進展は見られなかった
  - ▶ 「北京協議」で合意文書では、2か月以内の双方の大使館・代表機関の設置、各国主権の尊重、他国への内政不干涉、両国関係を強化を明記
  - ▶ 4月にもフォローアップ三か国外相会談で合意事項推進を確認
  - ▶ 6月7日、リヤドにイラン大使館再設置、テヘランのサウジアラビア大使館も再設置に向け調整中
- ⇒合意発表後も中国の継続的な関与で着実に進展

# 中国の仲介外交

## ▶ 2022年1月のサウジアラビア・トルコ・イラン・オマーン・クウェイト・バーレーン外相の同時訪中（江蘇省）が仲介外交の実際の始まりか

### ● 中イラン外相会談のプレスリリース

「中国側は湾岸の多角的な対話プラットフォームの構築について提案し、地域の国家安全保障に関わる問題、イエメン問題の政治的な解決、各国関係の改善や地域の平和と安定の促進を討論した」

### ● 王毅外相のメディアインタビュー

「湾岸アラブ諸国とイランは切っても切れない隣国である。湾岸アラブ諸国とイランはともに中国の友人であり、中国独自の影響力を評価し、中国の役割の拡大を期待している。そのため私たちは積極的に説得し、和平交渉を進めている。」

## ▶ イラン側とは対面／オンラインでほぼ毎月高官対話を継続

対話を通じた対立緩和、近隣友好の実現、地域の平和・安全・安定の維持

## ▶ サウジ側とはマルチ協議枠組みなどを利用して対話

イラン核問題における不拡散体制の維持、近隣友好・内政不干渉原則の確認

⇒中国は双方の関心事項を把握し、バイ・マルチ・アドホックな高官級対話の機会を利用して仲介的役割を担ったか

中サウジ外相会談(2022年1月10日)



中イラン外相会談(2022年1月14日)



(出所) 中国外交部HP



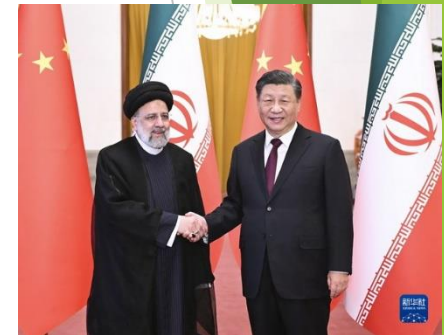
# 首脳外交の実施

- ▶ 習近平のサウジアラビア公式訪問（2022年12月）
  - 中国サウジ首脳会談、初の中国・GCCサミット、初の中国・アラブ連盟サミットを開催
  - 共同声明でイランに関して「近隣友好と各国内政への不干渉原則」を強調
- ▶ イランのライシ大統領の中国公式訪問（2023年2月）
  - 習近平「イランの周辺隣国関係を改善しようとする姿勢を称賛する」「地域の平和と安定を進める建設的な役割を務めることを希望する」
  - ライシ「中国が国際・地域の事柄に対する疎通を強化し・・・国際公平正義を維持し、地域・世界の平和と安全を維持することを願う」

中サウジ首脳会談(2022年12月)



中イラン首脳会談(2023年2月)



(出所) 中国外交部HP

# 中国が仲介者として選ばれた背景

## ▶ 中国の積極姿勢

「大国外交」と5つのイニシアティブ

GSIにおける「中東における対話・友好関係の促進」

⇒中国外交当局者にとって実績作りに直結

## ▶ 中国の中立性（両国に対するバランス外交）

- 「包括的戦略パートナーシップ」と長期的な発展に向けた協力推進

## ▶ 合意履行の重石としての中国の対イラン影響力

- イランからの信頼とイランへの影響力  
⇒サウジアラビアのイランへの不信を払しょく

# 中東における更なる「大国外交」 の実践とその示唆

- ▶ サウジアラビアとイランの継続的な緊張緩和を維持できるか
  - 重石としての役割（イランのフーシー派勢力への関与への牽制）
  - バランス外交のリスクも（対サウジDF-21提供、領土問題など）
- ▶ 「中東問題の核心」としてのパレスチナ問題
  - 習近平政権は1967年の国境線を基にした「二国家解決案」を軸に対話を通じた解決を提唱
  - 2023年6月、パレスチナのアッバス大統領の公式訪問を受け入れ、「戦略パートナーシップ関係」構築を合意
- ▶ 米中関係と中東地域
  - 今後も高まる中国の影響力
  - 「究極的な安全保障」を担わない中国
  - 競争的で重層的な秩序の形成か
- ▶ 「緩い相互支持」関係の強化と日本への影響
  - 「核心利益」に対する中東諸国の支持表現の強化  
人権問題、海洋問題、台湾問題など

アッバス大統領の公式訪中(2023年6月)



(出所) 中国外交部HP